

自然環境整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | |
|-------|-----|------|-----------|----|--------|----|
| 都道府県名 | 広島県 | 対象地域 | 西中国山地国定公園 | 面積 | 15,389 | ha |
|-------|-----|------|-----------|----|--------|----|

| | |
|------|---------------------|
| 計画期間 | 平成 17 年度 ~ 平成 21 年度 |
|------|---------------------|

目標

大目標:安全で快適な歩道等の整備

目標1:三段峡歩道の危険箇所対策を行い安全性の向上を図る。

目標2:牛小屋高原野営場の園路整備・炊事棟整備等をおこない快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

対象地域の現状

・三段峡地区は、全長14kmに及び探勝歩道沿いに数多くの渓谷・滝などの景勝地があり、県内有数の観光地である。しかし、近年歩道沿いの山腹斜面からの落石が多発し、危険な状態となっている。また、橋梁やトイレについては、老朽化が進んでいる。
 ・牛小屋高原地区は県内最高峰の恐羅漢山を中心に野営場・スキー場等があり、年間を通じて多くの利用者が訪れている。野営場については、平成9年度～12年度に再整備をおこなったが、炊事棟については再整備をおこなっていないため、支柱の腐敗が進み危険な状態となっている。

課題

・三段峡歩道においては、不安定な岩盤・転石に対する安全対策を行い、歩行者の安全確保を図る必要がある。またコンクリート製の橋梁やトイレについても老朽化が進んでいるため再整備が必要である。
 ・牛小屋高原においては、野営場の安全対策・機能向上のため、炊事棟の建替・園路舗装等の再整備が必要である。

将来像(ビジョン)

西中国山地国定公園内の施設・歩道等を整備することにより、安全で快適に自然とふれあう場を創出する。また多様な自然環境を利用した観光地としての整備に寄与し、地域の活性化にも貢献することを目指す。

上位計画等との整合

公園計画の整備方針に適合している。

目標を定量化する指標

| 指標 | 単位 | 定義 | 調査等の方法 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 |
|-------------------|-----|-------------------|--------|---|-------|-----------------|
| | | | | | 基準年度 | 目標年度 |
| 1. 三段峡地区危険箇所数 | 箇所 | 歩道沿いの危険地区数 | 現地調査 | 利用者の安全性の確保を指標とし、危険箇所を解消することを目指す。(危険度の高い地区及び入込の多い地区から順次対策を実施する。) | 61 | 平成17年度 30 |
| 2. 牛小屋高原野営場地区利用者数 | 人/年 | 周辺地域を含む野営場地区の利用者数 | 利用状況調査 | 野営場施設再整備による利用促進の指標とし、現行より1割程度の利用者の増加を目指す。 | 7,600 | 平成16年度 8,360 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

整備計画の評価

整備終了後、設定した指標に係るデータを整理し目標の達成状況に関する評価を行い、平成22年度にインターネット等を活用して公表するよう検討中。

自然環境整備計画の整備方針等

| 対象地域の整備方針 | 方針に沿った主要な事業 |
|--|--|
| <p>三段峡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全長14kmにわたる探勝歩道沿いに存在する不安定な岩盤・転石の安全対策を行い、歩行者の安全確保を図る。また老朽化した橋梁については架け替えをおこなう。 ・老朽化した休憩所兼公衆トイレを再整備する。構造については木造とし、景観に配慮したものとする。 | <p>(西中国山地国定公園)</p> <p>三段峡歩道等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道安全対策(県) ・休憩所兼公衆便所再整備(県) |
| <p>牛小屋高原</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊事棟の再整備及び園路の改修・舗装により安全対策及び機能強化を図る。 | <p>(西中国山地国定公園)</p> <p>牛小屋高原野営場等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊事棟再整備(県) ・園路改修・舗装(県) |
| | |
| <p>環境配慮の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道復旧・標識設置等については、間伐材を積極的に導入していく。 ・三段峡のトイレ再整備にあたっては、環境負荷の低減を目的としてバイオトイレ等の採用を検討している。 | |
| <p>高齢者、身体障害者等の円滑な利用に対する措置</p> | |
| <p>合意形成の状況・方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備方針については、関係市町、関係団体及び関係者との協議を行い、計画を策定した。 | |
| <p>その他</p> | |